Al Chatbotアプリケーション詳細仕様書

Fusion Mind 株式会社

目次

- 1. アプリケーション概要
- 2. 認証システム
- 3. チャットシステム
- 4. 決済システム
- 5. リアルタイム通信
- 6. データベース構造
- 7. 環境設定
- 8. UIデザイン

1. アプリケーション概要

概要

AI Chatbotは、OpenAIのGPTモデルを活用した、モバイル専用のチャットアプリケーションです。 無料プランと有料プランを提供し、ユーザーは好みのAIモデルを選択して対話を行うことができます。 複数のチャットを作成・管理でき、各チャットの内容に応じて自動でタイトルが生成されます。 ストリーミング形式でのレスポンスにより、スムーズな会話体験を実現しています。

主な特徴:

- Android対応(iOS対応予定)のモバイル専用アプリ
- 複数のGPTモデル選択が可能(プラン別)
- Stripeによる安全な月額課金システム
- チャット履歴のローカル保存
- マルチチャット管理機能

パスワード管理

- ハッシュ化: passlib.hashライブラリ使用 (PBKDF2-SHA256)
- パスワード要件:
 - 8~16文字
 - アルファベットと数字を含む
 - スペース禁止
- パスワードリセット:
 - メールによるリセットリンク
 - リンク有効期限:60分
 - HTMLメール形式

アカウントロック機構

- 試行回数管理: login_attemptsカラム
- ロック条件:3回連続失敗【要検討】
- ロック解除:
 - メールによる解除リンク
 - URLSafeTimedSerializer使用
 - リンク有効期限:60分

セキュアストレージ

- ライブラリ: flutter_secure_storage
- 保存情報:
 - 。 メールアドレス
 - 。 ハッシュ化パスワード
 - ログイン日時
 - 認証タイプ
 - ログイン保持期間:デバッグ用15分(設定可能) 【要検討】

Google認証

- ライブラリ: google_sign_in
- 取得情報:email, profile
- ログイン状態保持オプション
- 既存アカウントとの連携機能

OpenAl連携

- 利用可能モデル:
 - o GPT-3.5 Turbo (Freeプラン/Standardプラン)
 - ∘ GPT-4o (Standardプラン)
 - o GPT-4o mini (Standardプラン)
- タイムアウト:60秒
- ストリーミングレスポンス対応

チャット管理

- SQLiteによるローカル保存
- 会話履歴の認識
- オプションで設定したユーザーネームを認識
- チャットタイトル:
 - 初回メッセージから自動生成
 - タイトル生成にGPT-3.5 Turbo使用
 - 。 20文字以内
 - 任意のタイトルに変更可
- メッセージ制限:
 - 入力上限:200文字【要検討】
 - 履歴保持:1000文字【要検討】

表示・操作

- LINE風UIデザイン(黄緑色を基調としたchatUI)
- 自動スクロール
- ソート機能:
 - 作成日時(昇順/降順)
 - 更新日時(昇順/降順)
- チャット削除機能
- 注意書き表示: 'この応答には誤りが含まれる可能性があります。'

トークンコスト計算【要検討】

チャット内容からトークン数を計算し、モデルごとのレートを考慮してコストを算出するロジック。

目的

- コスト管理
- カラム連携

現状

- 仕様変更により未使用。
- 将来的な制御のため保持。

4. 決済システム

Stripe連携

- 決済処理:
 - 。 クレジットカードトークン化
 - PaymentSheet使用
 - 。 自動継続課金
- 顧客管理: customer_idで管理
- エラーハンドリング:
 - 決済失敗時の自動プラン変更
 - トランザクション管理

4. 決済システム

プラン管理

- Freeプラン: GPT-3.5 Turbo
- Standardプラン:全モデル利用可能
- 解約処理:自動Freeプラン移行
- 支払い履歴:履歴表示機能

5. リアルタイム通信

WebSocket実装

- ライブラリ: Flask-SocketIO / socket_io_client
- 通知イベント:
 - プラン変更
 - 。 決済状態
- 使用用途:リアルタイムUI反映

PostgreSQL (サーバーサイド)

user_accountテーブル

- email (PK): ユーザー識別用メールアドレス
- username: 登録時のユーザー名【要検討】
- password_hash: パスワードのハッシュ値(PBKDF2-SHA256使用)
- plan:契約プラン ('Free'/'Standard')
- monthly_cost:月間使用コスト(トークン計算用・現状未使用)【要検討】
- created_at:アカウント作成日時(default: CURRENT_TIMESTAMP)
- last_login: 成功したログインの最終日時
- login_attempts:連続ログイン失敗回数(3回でロック、default: 0)
- last_attempt_time:失敗したログイン試行の最終時刻(ロック管理用)

- unlock_token:アカウントロック解除用トークン
- user_name:プロンプト用ユーザー名:AIに認識を与える名前、オプション画面で設定可能
- isdarkmode: ダークモード設定 (default: false) true: ダーク/false: ライト
- selectedmodel:使用AIモデル(default: 'gpt-3.5-turbo')、プランによって制限
- chat_history_max_length:チャット履歴文字数制限(default: 1000)ユーザー毎に管理する場合利用【要検討】
- input_text_length:入力文字数制限(default: 200)、ユーザー毎に管理する場合利用【要検討】
- sortorder: チャット一覧ソート順(default: 'created_at ASC')
- next_process_date:次回処理予定日、サブスクリプション処理で使用
- next_process_type:処理タイプ('payment'/'cancel')、サブスクリプション処理で使用
- customer_id: Stripe顧客ID、サブスクリプション処理で使用

PostgreSQL (サーバーサイド)

user_paymentテーブル

- id (PK): 支払い記録ID(連番)
- email (FK): user_accountテーブルの外部キー
- processed_date: 処理実行日時(default: NOW())
- plan: 処理時点のプラン種別
- amount:決済金額
- transaction_id: Stripeトランザクション識別子
- message: 処理内容の説明文
- created_at:レコード作成日時 (default: NOW())
- updated_at:レコード更新日時(default: NOW())
- processed_by: 処理区分('payment'/'auto_cancellation'/'auto_subscription')

SQLite (ローカル)

chatテーブル

- id (PK): メッセージID (連番)
- chat_id:チャットグループID
- content:メッセージ内容
- timestamp:メッセージ送信日時
- is_user: 送信者種別(1:ユーザー、0:AI)
- response_to_message_id:返信元メッセージID(AIの返信時に使用)

SQLite (ローカル)

select_chatテーブル

- id (PK): チャットグループID (連番)
- title: チャットタイトル
- created_at:作成日時
- updated_at: 最終更新日時

7. 環境設定

- 必要環境変数:
 - サーバー設定 (URL、ポート)
 - データベース接続情報
 - ∘ API ‡− (OpenAI、Stripe)
 - メールサーバー設定
 - ∘ Google OAuth設定
 - セキュリティ設定

8. UIデザイン

基本デザイン

- LINE風のチャットインターフェース
- 黄緑色を基調としたカラースキーム
- アプリ全体で統一されたデザインパターン
- 直感的な操作性を重視したレイアウト

8. UIデザイン

テーマ設定

- ダークモード/ライトモード切り替え
- ユーザー設定として保存
- アプリ再起動時に設定を維持
- システムテーマとの連動 (オプション)

8. UIデザイン

画面構成

- ヘッダー:タイトル、設定メニュー
- チャット一覧:ソート機能、削除機能
- チャット画面:メッセージ入力欄、送信ボタン
- 設定画面:ユーザー名設定、テーマ切り